

2018年1月11日

日本ケミファ株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目2番3号
TEL:03-3863-1211(代表) / FAX:03-3864-5940

抗うつ・抗不安候補薬「NC-2800」の 医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE)採択に関するお知らせ

日本ケミファ(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:山口 一城)は、抗うつ・抗不安薬として開発を続けているNC-2800(オピオイドδ(デルタ)受容体作動薬*1)について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(以下、AMED)による平成29年度「医療研究開発革新基盤創成事業(以下、CiCLE):第2回公募」に採択されましたのでお知らせいたします。

NC-2800は2015年10月に採択されたAMEDの「産学連携医療イノベーション創出プログラム(ACT-M):課題名『情動系を調節するオピオイドδ受容体作動薬の開発』(研究者:長瀬 博、藤井 秀明、斎藤 顕宜、企業:日本ケミファ)」の研究から見出され、2018年3月までの同プログラム期間中における非臨床試験終了を目指して開発を続けているところです。そして今回、これらの研究成果により、その新たな作用機序に基づく情動調節薬としての期待や既存の抗うつ・抗不安薬の抱える問題を克服しうる可能性などが認められ、AMEDの推進するCiCLEに採択されました。

- 採択された研究開発課題

課題名: オピオイドδ受容体活性化を機序とする画期的情動調節薬の開発

支援期間: 2018年3月~2027年2月(9年間)

代表機関: 日本ケミファ株式会社

日本ケミファは、まだ十分な治療薬がない病気に苦しむ患者さんのために、これからも画期的新薬の開発を目指した創薬テーマに積極的にチャレンジしてまいります。

【ご参考】

- 医療研究開発革新基盤創成事業(CiCLE: Cyclic Innovation for Clinical Empowerment)

産学官連携により、我が国の力を結集し、医療現場ニーズに的確に対応する研究開発の実施や創薬等の実用化の加速化等が抜本的に革新される基盤(人材を含む。)の形成、医療研究開発分野でのオープンイノベーション・ベンチャー育成が強力に促進される環境の創出を推進することを目的とした事業。

CiCLE 第2回採択課題 URL: https://www.amed.go.jp/koubo/07/saitaku_00013.html

*1 :オピオイドδ受容体作動薬

オピオイド受容体には主に μ 、 κ 、 δ の 3 種が存在し、モルヒネなどの麻薬性鎮痛薬による強い鎮痛作用と薬物依存などの副作用は μ 受容体への作用に由来することが明らかとなっています。これに対して、オピオイドδ受容体の活性化は、うつや不安障害への改善効果などの薬理作用が知られ、便秘、呼吸抑制、薬物依存などの副作用への影響は少ないとされており、安全性と有効性のバランスに優れた医薬品のターゲットとして注目されています。

以上